

帝京科学大学地域連携推進センター
令和 8 年度学生の地域連携活動助成募集要項

帝京科学大学地域連携推進センターでは、地域連携活動に積極的に取り組む本学学生諸団体（部、サークル、有志等）の地域連携活動に対して助成します。助成を希望する本学学生諸団体は奮って応募して下さい。

1. 目的

本学学生諸団体が計画している地域連携活動に要する経費の一部を支援することにより、学生の特性を活かし、地域の問題・課題解決に貢献する地域連携活動の一層の推進・発展を図ることを目的とします。

2. 対象取組事業

地域の課題解決に貢献する学生の特性を活かした地域連携活動が助成の対象になります。『新たな論点や視点に基づいた新規性がある』ことが要件になっていますので、前年度からの継続している活動の場合は、今年度追加する新たな視点や発展的な内容を含めてください。

また、地域連携推進センターの方向性を明示したミッション・ステートメントおよび短期目標では、「地域の課題の解決」や、「持続可能な社会の実現への貢献」が謳われています。このことから、SDGs（持続可能な開発目標）に掲げられたゴールとの関連性を意識した提案や、近年の動向を踏まえた企画・計画を検討してください。

* ミッション・ステートメント、短期目標は、本学のホームページに掲載しています。

<https://www.ntu.ac.jp/chiiki/outline/index.html>



3. 応募資格

本学学生諸団体（部、サークル、有志等）

4. 支援額

支援額：1 団体あたり最高 15 万円まで

総支援額：180 万円（*教職員の地域連携活動助成も含む）

※対象となるもの：交通費、印刷費、通信費（郵送代）、消耗品、雑費、賃借料

※対象とならないもの：謝金、人件費、遠方までの交通費、地域連携活動以外で使用用途のあるもの

5. 募集期間

令和 8 年 1 月 13 日（火）～令和 8 年 2 月 6 日（金）

6. 結果通知及び事業費配分予定

令和 8 年 3 月 27 日（金）（採否に関わらず通知します。）

7. 助成対象期間

令和 8 年 4 月 1 日～令和 9 年 2 月末

8. 応募方法

助成希望団体の代表者は、以下の書類をホームページからダウンロードし、応募専用フォームから提出してください。

* 帝京科学大学＞地域連携＞お知らせ

<https://www.ntu.ac.jp/information/kickoffmtg2026/index.html>

<提出書類>

- ・ 学生の地域連携活動助成申請書（様式 1_新規／様式 2_継続）
- ・ 収支予算書（様式 3）
- ・ 参考資料：活動の実施に関わる人員名簿、活動に関する説明資料や参考となる資料など

<応募専用フォーム>

<https://ca21985f.form.kintoneapp.com/public/chiiki-renkei2026koubo>



9. 助成申請書の記入および提出の際の注意

- (1) 部やサークルの場合は、顧問教員、有志団体の場合は活動を支援する教員の承諾を得ること。
その上で、担当教員欄を記入すること。
- (2) 令和 7 年度以前に採択され、継続して応募する場合は、様式 2（継続）を記入、提出すること。
- (3) 部費や他の助成を受けている場合には、その金額を記載すること。また、支出の内訳について、できるだけ詳しく積算内容を記載すること。
- (4) 計画や事業の概略図など、詳細な内容、わかりやすい資料などがある場合は、参考資料として提出すること。
- (5) 応募は、顧問（担当）教員が行うこと。（申請者名も顧問・担当教員名にすること。）
- (6) 受付完了後に登録したメールアドレスに「受付完了メール」が届くため、必ず確認すること。

10. 助成金使用上の注意

大学からの予算に関しては、使用する上での規則があります。採択された学生諸団体は、採択後に配布する「地域連携活動 助成金の使用方法について」を熟読し、理解したことを地域連携係に報告してください。

11. 活動報告

- (1) 地域連携活動の記録（記録内容は「活動の月日」・「活動内容」・「場所」・「対象者」・「参加学生数」等）を提出すること。
- (2) 年度末の地域連携活動報告会に参加すること。
- (3) 毎年発行している地域連携推進センター年報「地域連携研究」に投稿すること。

1 2. 選考方法

提出された申請書をもとに地域連携推進センター構成員が次の項目について審査し、選考します。

目的・内容に関すること

- (1) 新たな論点や視点に基づいた新規性のある地域連携活動が期待できるか。継続の場合、前年度からの改善や発展が計画されているか。
- (2) 活動のねらい（目的、目標）が明確に示されているか。それらは地域連携推進センターの目的に適合しているか。（ミッション・ステートメント参照）
- (3) 自治体や施設、市民団体等との協働により新たな価値を生み出す共創的な取り組みとなっているか。（短期目標 1 参照）
※「共創」：異なる立場や業種の人・団体が協力して、新たな商品・サービスや価値観などをつくり出すこと
- (4) 本学の特徴を活かし、学生が主体となって授業や活動の成果を活かした地域貢献が期待できるか。
- (5) 今日の社会状況（SDGs（持続可能な開発目標）など）を踏まえた、提案となっているか。（短期目標 3 参照）
- (6) 学生にとって有益な社会経験を得る機会となり得る計画か、また過度の負担が生じない適切な内容であるか。

申請書に関すること

- (7) 計画内容や実施方法が、活動のねらいに沿って具体的かつ明確に設定されているか。
- (8) 予算の設計、経費の用途が具体的で妥当なものとなっているか。費用対効果が適切に見込めるか。
(活動地域が大学の所在地である山梨地区・東京地区での活動を重視する。)

1 3. 問い合わせ先

当事業に関する質問等については、以下までお問い合わせください。

千住キャンパス 研究・助成支援・地域連携第 1 係 03-6910-3520
東京西キャンパス 研究・助成支援・地域連携第 2 係 0554-23-6808

以 上